

あれこれ通信

しぶやとみこの議会報告

NO. 52

2007年9月15日

渋谷とみ子の会

埼玉県比企郡嵐山町平沢 254-64

Tel / Fax 0493-62-7997

<http://www.k2.dion.ne.jp/~saiko/shibuya/>

リニューアルしました。

Eメール shibuya97@s4.dion.ne.jp

地球温暖化を防ぐために、行政と企業に望むこと

夏の猛暑で、地球温暖化をストップできる政策を考えなくては、将来を次世代に引き継ぐことが難しくなることに気づきました。

CO2 排出は運輸・産業による増加が大きいのです。

寄居町と小川町に、本田技研の工場の建設が予定されています。埼玉県にグローバル企業が入り、日本経済の空洞化からの脱出を期待しました。稲わらなどによるバイオマス産業ができ、ハイブリッド車になれば、CO2 が削減できるという希望もありました。

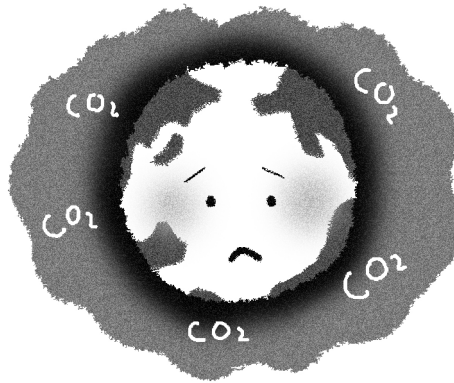
自動車生産によるCO2の増大、交通量の倍増による渋滞・大気汚染の課題がわかってきました。寄居町新工場は、100ヘクタールの山を切り崩し開発します。

小川町新工場は、住宅団地に開発した47ヘクタールを工業系に変更します。ホンダ技研の寄居町工場稼働によるCO2は15万833トンと予測できます。埼玉県のCO2は平成16年度、4288万4千トンなので、0.35%増えます。これは1年間でガソリンをドラム缶で31万本分燃やす量になります。埼玉県は平成23年度までにCO2を6%削減する

目標ですが、逆に増えています。

海

海外でCO2の排出権を買い、目標を達成するのでは、地球温暖化が進みます。温暖化を防ぐハイブリッド車を生産する一方で、CO2が増えるという結果になりそうです。県は、残念ながら、嵐山町をホンダ技研の影響評価の関係地区に指定しませんでした。



玉

道254号バイパスの交通量は、ホンダ技研の通勤車両などで、小川町のひばりが丘団地前で11070台/日増え、将来の交通量は24920台/日と予測されています。現在の交通量の1.8倍です。環境悪化は必至です。大気汚染による呼吸器疾患が増えるでしょう。町にはホンダ技研に、自動車通勤ではなく、電車利用の通勤・バス通勤を求める義務もあります。企業の利潤、税の増収以上に、地球の将来・住民の健康を考えた産業のあり方を求める行政の姿勢・緑地を創出して、温暖化をおさえる政策が必要です。